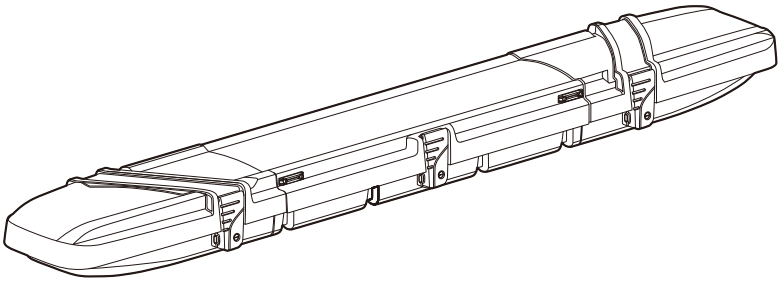
IF44T ロッドボックス取扱説明書

本品の取扱の前に、必ず本書をよく読んで内容を充分に理解してからご使用ください。
本書をお読みになった後は大切に保管してください。また、本品をゆずられる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。

IF44T



⚠警告 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

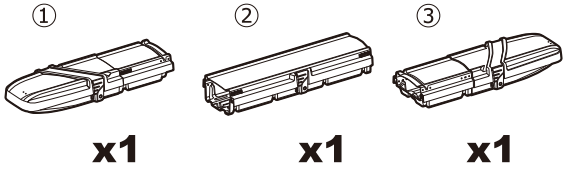
- 本品は釣り竿（リール装着を含む）専用の商品です、用途以外の使用はしないでください。
- 本品を改造しての使用はしないでください。
- 速度超過・急発進・不要な急ハンドル・不要な急ブレーキをしないでください。
- カバーを確実に閉め、キーをロックしてください。カバーが走行中に開き、荷物が脱落したり、風圧により本品が破損・脱落するおそれがあります。
- 走行前に 2 ヶ所の取付部、本体の結合部にユルミがないか確認し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

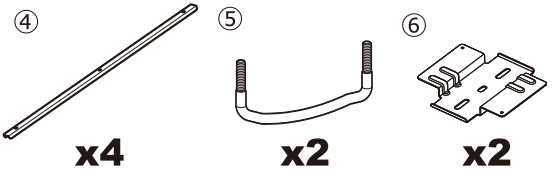
⚠注意 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生じる場合があります。

- リアゲートやトランクを開ける際、本品に当たらないように注意してください。
- 本品は防水構造ではありません、強い雨などにより荷物が濡れるおそれがあります。
- 本品装着時は、車高が高くなっておりますので、注意して走行してください。
- 本品を装着したまま、車体カバーや塗装飛散防止用カバーを使用しないでください。気象条件等により高温になり、変形するおそれがあります。
- 本品の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。変形するおそれがあります。

参考 本品を使用するうえで、知っておいていただきたいことについて説明します。

部品内容

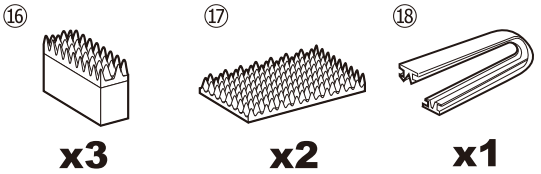


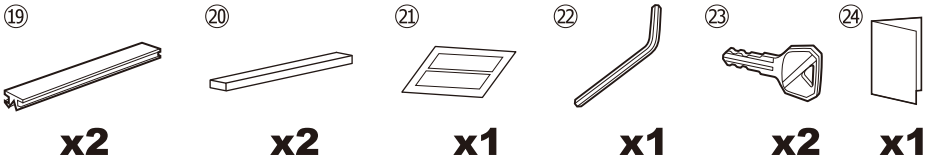










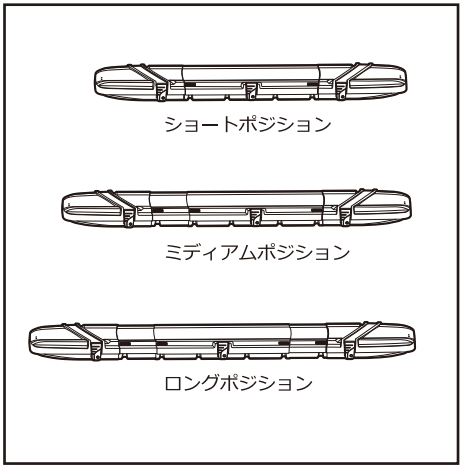


共通部品

No	部品
①	本体A
②	本体B
③	本体C
④	フレーム
⑤	Uボルト
⑥	ボトムプレート
⑦	四角ボルト
⑧	ノブ
⑨	ワッシャ
⑩	六角穴付ボルト※1
⑪	ノブナット
⑫	ジョイントボルト
⑬	ジョイントナット
⑭	ノブボルト
⑮	穴埋めキャップ※2
⑯	グリップクッション
⑰	ボトムクッション
⑱	モールL
⑲	モールS※2
⑳	防水モール※3
㉑	スペックシール
㉒	六角レンチ
㉓	キー
㉔	取扱説明書

※1 フレームに取り付けてあります。
※2 本体A、Cに取り付けてあります。
※3 本体A、Cに貼り付けてあります。

1 長さを決める



本品は積載するロッドの長さに合わせて 3 段階に長さが調節できます。

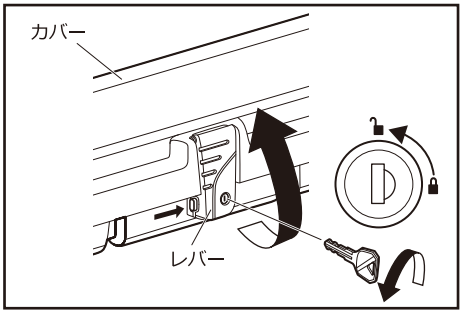
積載できるロッドの長さ

ショートポジション	2,200 mm (7′2″)
ミディアムポジション	2,480 mm (8′1″)
ロングポジション	2,760 mm (9′0″)

参考

- ロッドボックスの前後の内側にはダンパーがあるため、上記は最小サイズです。積む場所によってはプラス 20mm 程度長いロッドが入ります。
- ベースキャリアの前後間隔が 810 mm 超～ 890 mm 未満の場合はショートポジションでの使用はできません。
- 本品は前後の指定はありません。開閉する側を車両の外側に向けてください。

2 本体 A,B,C の組み立て

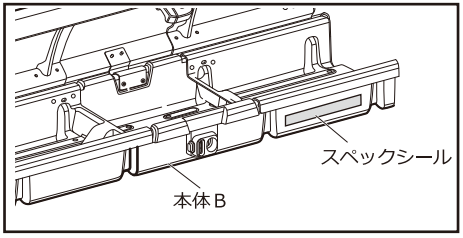


1 各本体のカバーを開ける

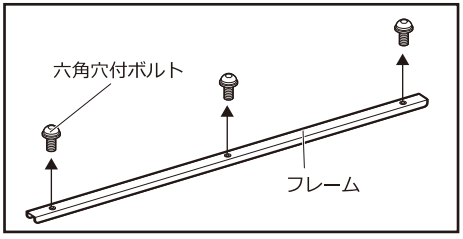
キーで開錠し、ボタンを押しながらレバーを上げて、カバーを開ける。

参考

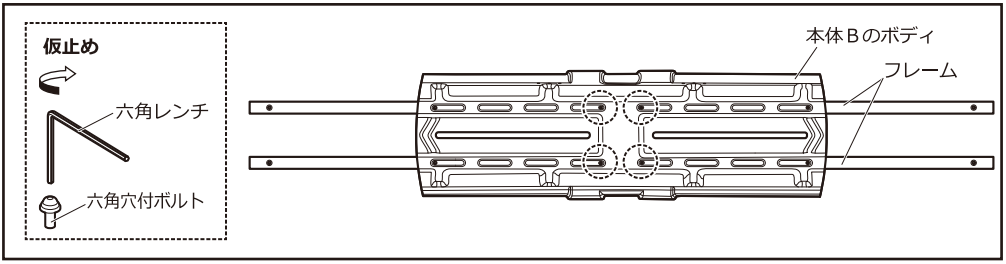
本体 B にはダンパーがないため、カバーは反対側まで倒れます。開く際はキズが付かないよう注意してください。



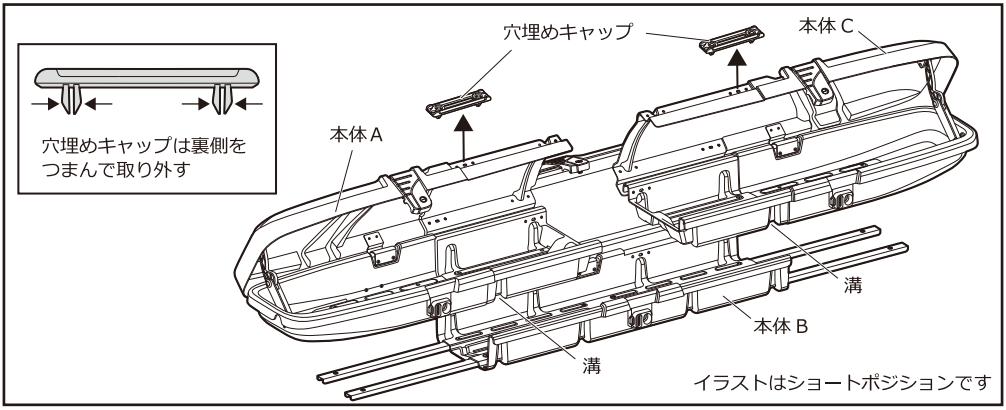
2 本体 B のボディに日本語のスペックシールを貼る。



3 フレームに取り付けてある六角穴付ボルトをすべて外す。



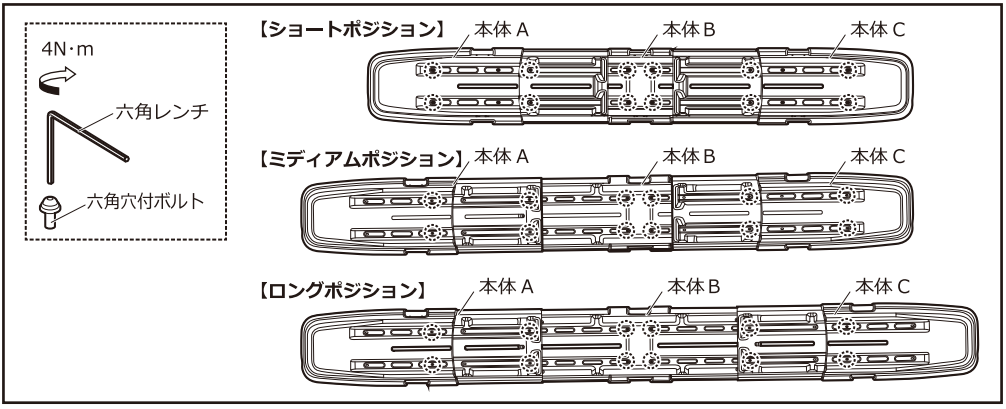
4 本体Bのボディとフレームを六角穴付ボルト（４本）で仮止めする。



5 ポジションに合わせて本体Ａ、Ｃの溝を本体Ｂにはめる。

参考

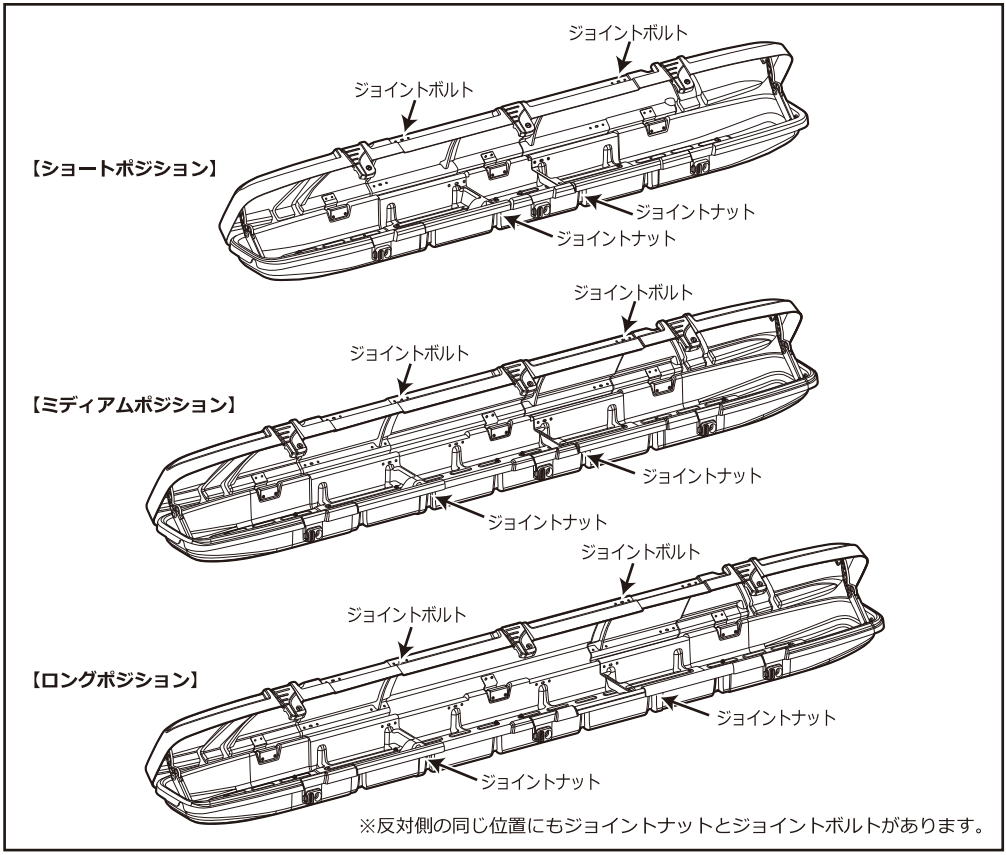
- ミディアムポジションの場合は、前側（進行方向）が長くなるように置き、後ろ側のカバーから穴埋めキャップを外す。（左右計２個）
- ショートポジションの場合は、本体Ａ、Ｃのカバーから穴埋めキャップをすべて外す。（左右計４個）

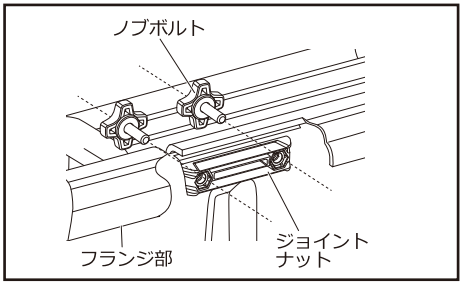


6 六角穴付ボルト（8 本）で本体Ａ、Ｃをフレームに固定し、仮止めしていた本体Ｂの六角穴付ボルト（４本）も固定する。（4N･m）

参考

六角レンチの長い方を持ってボルトを締め付けてください。

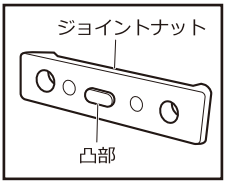


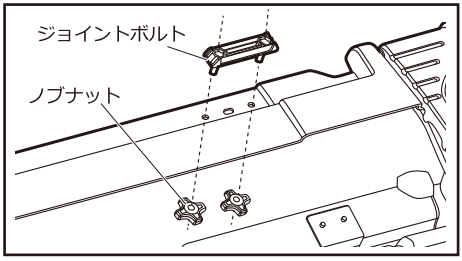


7 本体A,Cのボディのフランジ部（ふち）で隠れている穴にジョイントナットの凸部を合わせて、内側からノブボルトで固定する。

参考

ヒンジ側を先に固定してください。





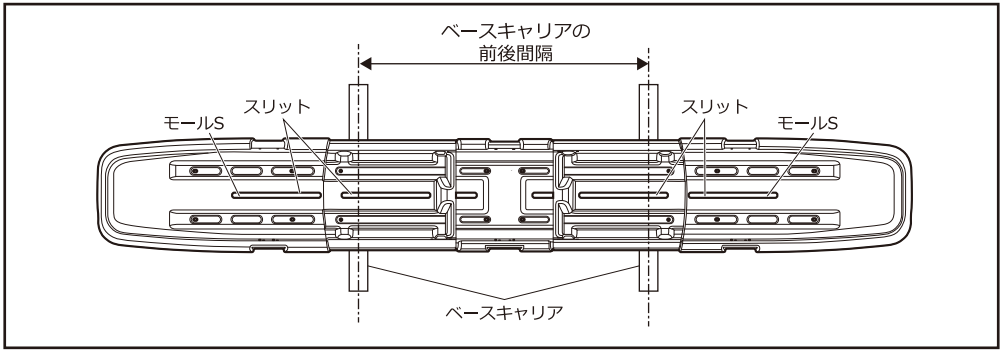
8 本体A,Cのカバーの外側からジョイントボルトを差し込み、内側からノブナットで固定する。

参考

ジョイントナット、ノブナットにはゆるみ止め用にゴムワッシャが入っているため、ボルトが入りにくくなっています。取り付けの際はノブを軽く押しつけながら回し、締め付けてください。

3 取付位置を決める

1 ベースキャリアが正しく取り付けられているか確認して、本品をベースキャリアに仮置きする。



2 カバーを開けて、ベースキャリアの上にスリットがくるように本品の位置を調整する。
外側のスリット部にベースキャリアがくる場合はモールSを取り外す。

⚠注意

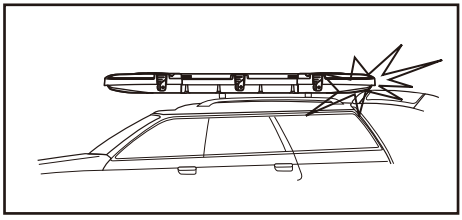
ベースキャリアの前後間隔は、600mm以上とってください。ベースキャリアの前後間隔が狭いとベースキャリアに無理な力がかかることにより本品が脱落するおそれがあります。

☜参考

- ポジションによって、取り付けに必要なベースキャリアの前後間隔が異なります。

ショートポジション	600～810 または 890～1,400
ミディアムポジション	600～1,700
ロングポジション	600～2,080

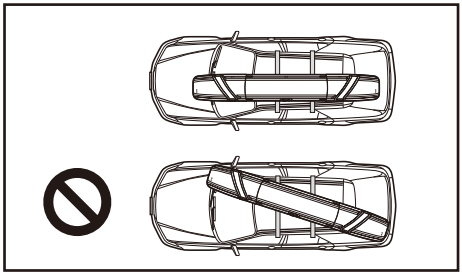
- ベースキャリアの前後間隔が調整できる場合は、できるだけ広げてください。本品が安定し、車両への負担も少なくなります。



3 リアゲートを開けて本品に接触しないか確認する。
接触する場合は、取付位置を調整する

☜参考

車種によってはベースキャリアの取付位置が変更できないなど、リアゲートとの干渉が避けられない場合もあります。その場合はリアゲートを開閉する際、本品に当てないように注意してください。



⚠注意

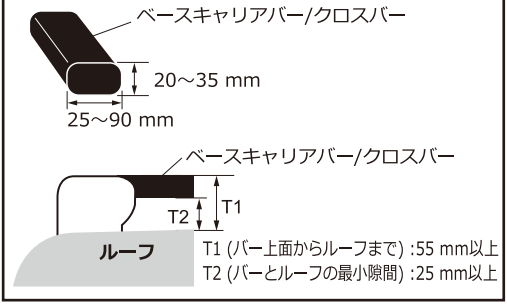
本品がクルマの進行方向と平行になるように取り付けてください。

4 ベースキャリアに取り付ける

ベースキャリアへの取付方法を決める。

INNOベースキャリア、純正ベースキャリア/クロスバーにUボルトで取り付ける場合→「4 – A」へ

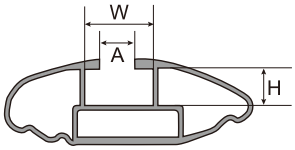
取付可能バーサイズ



T1 (バー上面からルーフまで) :55 mm以上
T2 (バーとルーフの最小隙間) :25 mm以上

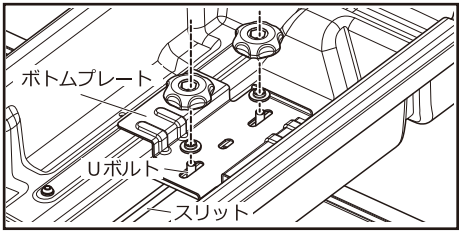
INNOエアロベース、純正ベースキャリア/クロスバーのTスロットに取り付ける場合→「4 – B」へ

Tスロット寸法



W : 21 ～ 22mm
H : 5mm ～
A : 10.5 ～ 11.5mm

4 - A Uボルトで取り付ける場合

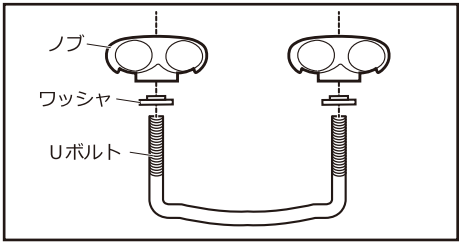


1 ボトムプレートをベースキャリア取付部のスリットの上に乗せて、U ボルトを下から通す。

⚠警告

バーがUボルトの中央にくるように取り付けてください。走行中にUボルトがゆるみ、本品が脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。





2 Uボルトにワッシャを通し、ノブを取り付けて仮止めする。

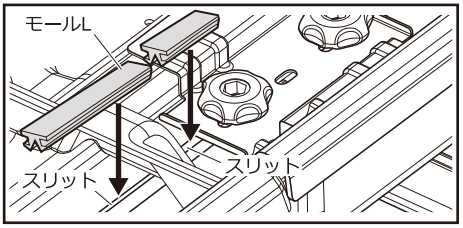
⚠注意

ワッシャの向きに注意



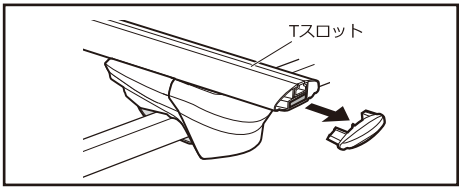
3 残りの箇所にもボトムプレート、ワッシャ、ノブを取り付ける。

4 すべてのノブを締め、本品を固定する。

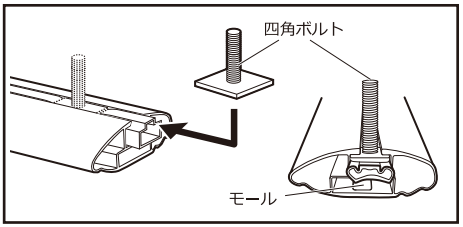


5 スリットのすき間に合わせてモールLをカットし、すき間に押し込む。

4 - B　Tスロットに取り付ける場合

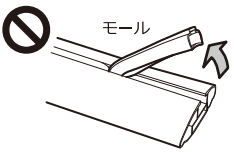


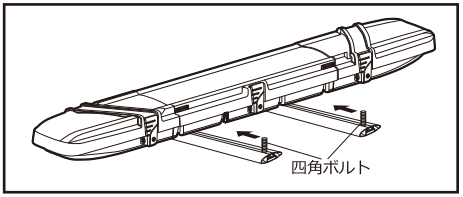
1 ベースバーにカバー等がある場合は外して、四角ボルトを T スロットに通し、カバー等を元通りに取り付ける。



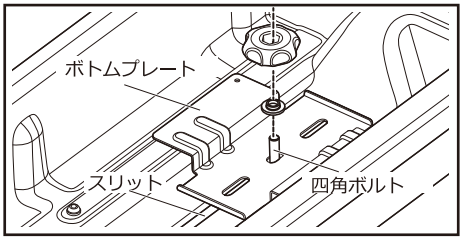
⚠注意

INNOエアロバーの場合、モールは外さず、下に押しさげ、四角ボルトを差し込んでください。





2 四角ボルトをスライドさせて本品のスリットに通す。



3 四角ボルトにボトムプレートの中央の穴を通し、ワッシャとノブで仮止めする。

⚠注意

ワッシャの向きに注意

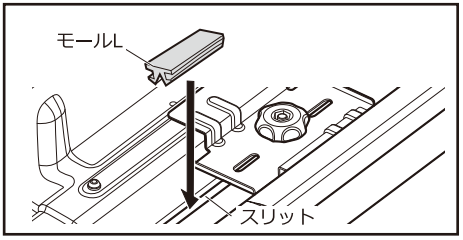


4 残りの箇所にもボトムプレート、ワッシャ、ノブを取り付ける。

☞参考

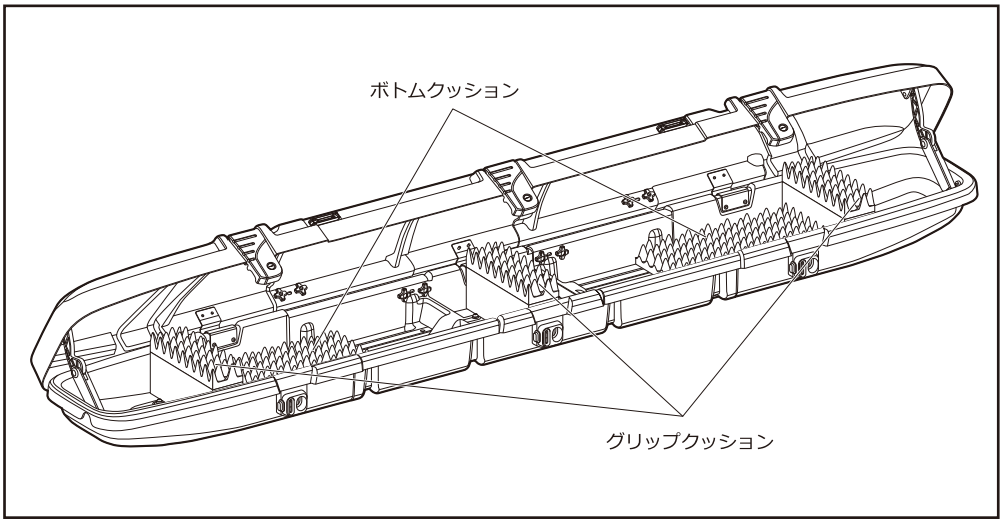
ノブとワッシャはそれぞれ2個余ります。

5 すべてのノブを締め、本品を固定する。

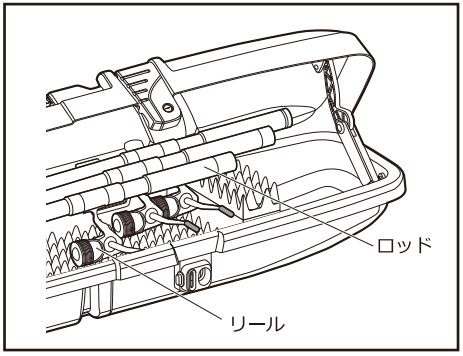


6 スリットのすき間に合わせてモールＬをカットし、すき間に押し込む。

5 ロッドを積載する



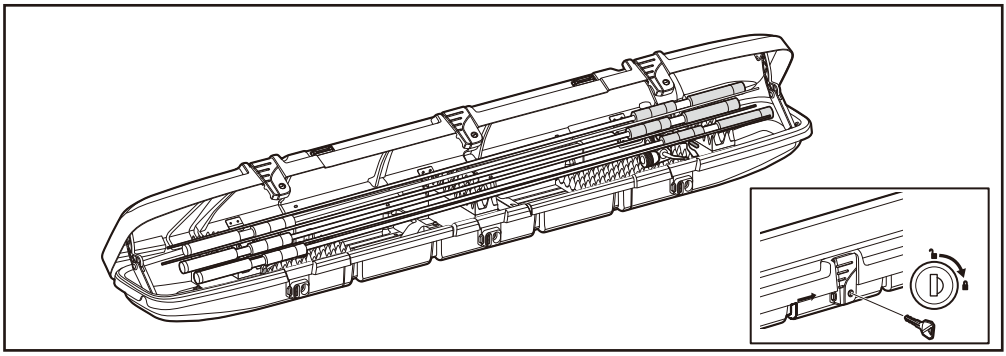
1 グリップクッション、ボトムクッションを仮置きする。



2 リールをセットしたロッドを置いて、クッションの位置を調節する。

参考

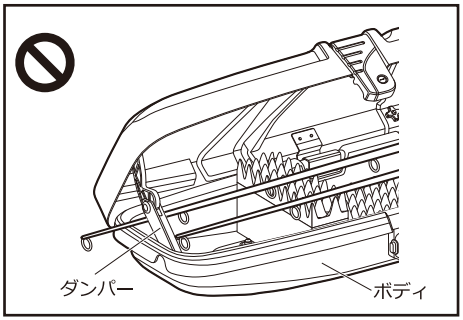
リールがボトムクッションに乗る位置に調節してください。



3 ロッドを積載してカバーを閉じ、3 ヶ所のキーをロックする。

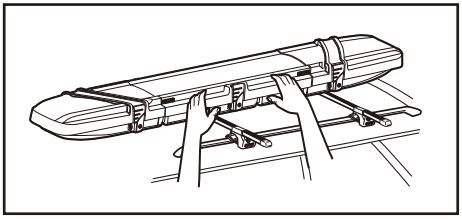
参考

多数のロッドを積載する場合は、ロッドの前後を交互にしてください。



⚠注意

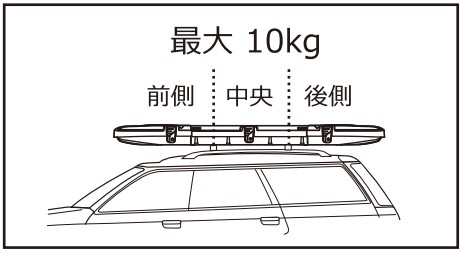
カバーを閉める際にロッドの先端がボディから出たり、ダンパーに触れないようにしてください。



参考

カバーを開ける際は、中央のレバーの左右を同時に持ち上げてください。

6 最大積載量

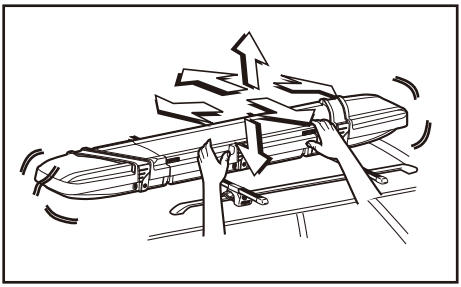


最大積載量は 10kg です。

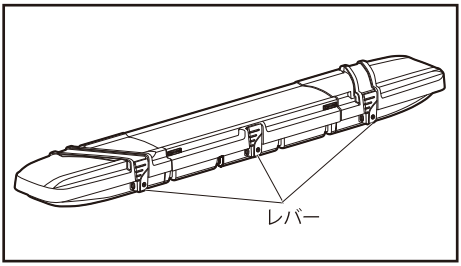
⚠注意

本品の前側・中央･後側それぞれの重量が均等になるように積載してください。

7 走行前のチェック



1 本品を前後左右上下にゆすり、ノブのユルミによるガタツキがないか、キャリアに確実に固定されているかを確認する。ガタツキがある場合は、再度 2 ヶ所の取付部を「**4 ベースキャリアに取り付ける**」の手順に従って、ボトムプレートのノブを再度締め付ける。



2 レバーが 3 ヶ所とも確実に閉っていること、キーがロックされていることを確認する。

8 日常のお手入れ / 保管方法

本品が汚れた場合は、水洗いしてください。

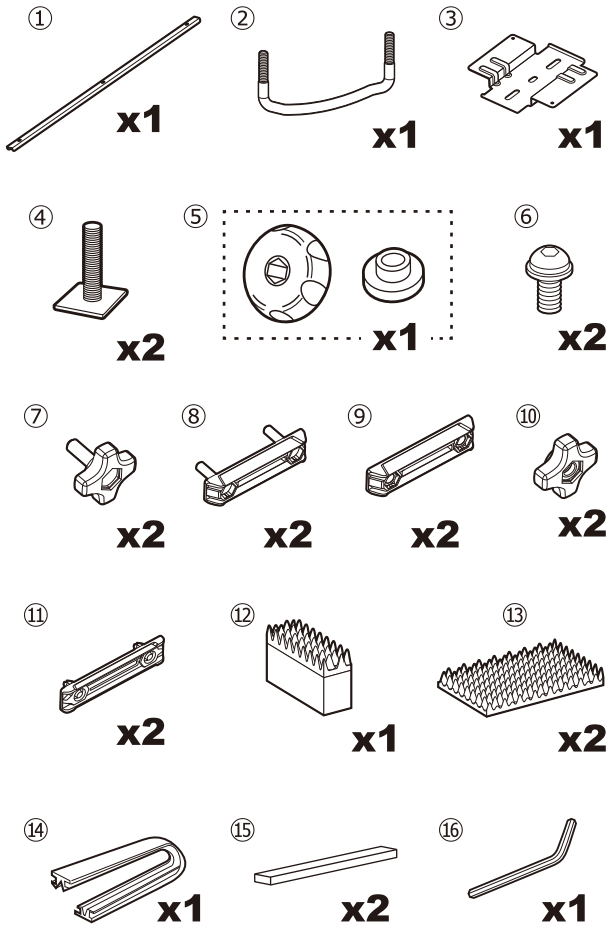
⚠警告

- 潤滑スプレー/油/グリス/シンナー/洗剤等の種類によっては、本品の素材が劣化し、破損・脱落するおそれがあるため、使用しないでください。また、カギ/ヒンジへの注油はしないでください。
- 洗車機にかける場合はキャリアを取り外してください。誤ってキャリアを取り付けたままで洗車機にかけてしまった場合は、必ずキャリアの取り付け状態を確認してください。
- 長期間使用しない場合はベースキャリアから外して各部を点検し、直射日光の当たらない乾燥した室内に保管してください。

☜参考

本体Ａ、Ｃのカバーのモールの劣化により本品内に水が多く入るようになった場合は、防水モールを交換してください。

補修パーツのご案内



No		部品
①	ISP1130	フレーム
②	ISP1255	Uボルト
③	ISP1256	ボトムプレート
④	ISP1257	四角ボルト
⑤	ISP1258	ノブセット （ノブ＋ワッシャ）
⑥	ISP833	六角穴付ボルト （取付ボルトセット）
⑦	ISP1132	ノブボルト
⑧	ISP1133	ジョイントボルト
⑨	ISP1134	ジョイントナット
⑩	ISP1135	ノブナット
⑪	ISP1136	穴埋めキャップ
⑫	ISP1137	グリップクッション
⑬	ISP1138	ボトムクッション
⑭	ISP270	モールL
⑮	ISP1009	防水モール　800×2本
⑯	ISP17	六角レンチ
⑰	キー（キー No. を確認してください）	

お問い合わせ先

商品については、カーメイトお客様サポートページへお問い合わせください。補修パーツは、商品を購入した販売店またはカーメイト公式オンラインストア楽天市場店へご注文ください。なお、誤った取り付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故の責任は一切負いかねます。製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社カーメイト
〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11
お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】

◆カーメイト公式オンラインストア楽天市場店
https://www.rakuten.co.jp/carmate/

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!
詳しくはWEBサイトをご覧ください。
https://www.carmate.co.jp/club/
INNO　品番：IF44T